

アジア系住民に対する嫌がらせ等の増加について

1 3月12日の領事メールでもお伝えしましたが、アジア系住民に対する嫌がらせ等が増加しております。連邦政府、カリフォルニア州、南カリフォルニアの各自治体も、これらアジア系住民への嫌がらせ等を非難する声明を発出しております。

【地域コミュニティと一体となった取り組み】

当館も、治安当局や公選議員等に在留邦人や日系米国人を含むアジア系住民に対する嫌がらせ等の増加に対する懸念を伝え、これらの事案を抑制するために善処を依頼するとともに、これらの嫌がらせ等に反対する明確なメッセージの発出を依頼しています。下記は、当館からも働きかけた要人の発言、地方議会決議等の一部です。

(1) ガルセッティ・ロサンゼルス市長発武藤総領事宛書簡 (2021年3月)

「我々の隣人であるアジア系米国人や太平洋諸島系住民 (AAPI) に向けられたヘイト・クライムの増加に対し、深い憂慮を表明する。ロサンゼルスは、人種差別や外国人差別を一切受け入れることはない。我々は、AAPI コミュニティとともに立ち上がり、これらの無分別な攻撃から彼らを守る。ロサンゼルス市民に対するこれらの暴行を働いたものは、その行動に対するしかるべき責任を帰せられる。」

(2) トーランス市議会決議 (2020年7月)

- ・新型コロナウイルスに対する恐怖から引き起こされた外国人恐怖症、人種差別、AAPI に対する差別的な感情を非難する。
- ・AAPI の安全と幸福に向けられた各地方自治体、市、州のコミットメントを確認する。
- ・人種、民族や出身国に関わらず、すべての居住者、学生、労働者にとって安全で居心地のよい環境を提供することへの取り組みを確実に行う。

(3) ロサンゼルス市議会動議 (2021年5月)

- ・アジア系米国人を標的とした犯罪が増加している中で、これら犯罪は捜査され犯人は訴追されるべきである。
- ・アジア系の人々や文化的な遺産を多く有するコミュニティがしっかり守られるよう取組がなされるべきである。
- ・ロサンゼルス市警察局に対して、検察官 (City Attorney) とも協力しつつ、増加しているアジア系米国人への犯罪に関する報告書、警察局の対応、これら犯罪を減らし犯人を訴追するために活用可能なリソースについて報告することを求める。

(※ロサンゼルス市議会は4月にも AAPI への暴力やヘイトスピーチを非難し、ロサンゼルス市に対して公共的なキャンペーンの立ち上げを求める動議を決議しています。)

(4) ケビン・デリオン・ロサンゼルス市議 (リトルトウキョウ地区選出, 移民・市民権等委員会委員長) 発言 (2021年3月)

「(移民・市民権等委員会にて) これまで繰り返し述べてきているとおり, 我々の社会にこれらの非道な攻撃が存在する余地はない。(中略) ロサンゼルス市民あるいはロサンゼルスを訪問する人々が, その民族的な出自によってヘイト・クライムの対象になることを断じて容認しない。」

【通報の重要性】

万一ヘイト関連事案の被害に遭われた場合には, 速やかに911または発生した所轄の警察署に通報するとともに, 当館が所轄警察と連携しつつ, またコミュニティ関係者に働きかけ, 被害を最小限にとどめ, 再発防止を徹底させる必要があるため, 当館にもご連絡をいただきますようお願いいたします。特に警察当局が万一協力的でない場合であっても, 当館は上記デリオン・ロサンゼルス市議と連携してロサンゼルス警察に働きかけることが可能です。被害を受けた場合に黙っていることは, かえって被害を助長することになり, 問題の解決に資しませんので積極的に警察当局に通報願います。また, 警察当局以外にも, ロサンゼルス郡ではヘイト関連事案の発生についての報告を受け付けていますので, 下記サイトから報告することも可能です。

○ロサンゼルス郡 211 LA vs HATE(オンラインによる報告サイト)

<https://www.211la.org/form/anti-hate>

また非政府団体も次のようなサービスを提供しています。

○ Asian American Advancing Justice (英語対応)

差別等の被害に遭った際の法律支援サービス

<https://advancingjustice-la.org/anti-asian-discrimination>

○ STOP AAPI Hate (英語対応)

ヘイト事案のオンライン通報システム (日本語フォーマット有り)

<https://stopaapihate.org/actnow/>

○ 日系ヘルプライン (日本語対応)

日本語での無料相談窓口。日系ヘルプラインでは, ヘイト事案のみでなく, 結婚生活, 離婚, 家庭生活, シニアの悩み, 子育てなどの相談も受け付けています。日系ヘルプラインは, 必要に応じて, リトル東京サービスセンターとも協力しております。

月曜～金曜日の午前10時～午後5時まで (週末・祝日を除く)

電話：213-473-1633 800-645-5341

○ リトル東京サービスセンター（LTSC）（日本語対応可）

行政機関通報先のご案内及びその通報支援やヘイト被害に遭われた方の精神サポートなどを行っております。

電話：リトル東京オフィス 213-473-3035

サウスベイオフィス 310-819-8659

【ヘイトクライムの撲滅】

アジア系住民に対するヘイト事案をなくすためには、皆様の協力が必要となります。地域コミュニティ、総領事館と皆様と一体となってアジア系住民へのヘイト事案を撲滅しましょう。